

## 災害時帰宅支援ステーション用物品の使用目的、使用方法

### 1 発電機

使用目的：災害により停電した場合に備え、ガソリンを動力として発電を行うもの。投光器・水中ポンプを機動させる際に利用してください。

使用方法：

#### (1) エンジンオイルの給油

メンテナンスカバーを外し、エンジンオイルを給油してください（取扱説明書 22 ページを確認すること。）。



ドライバー等を使ってメンテナンスカバーを外す。

#### (2) ガソリンの給油

メンテナンスカバーを閉め、燃料給油キャップを開けてガソリンを注入してください（取扱説明書 20 ページを確認すること。）。

ガソリンは 1 リットルで 2～3 時間程度持ちます。

また、ガソリンは自然劣化するので、長期間入れっ放しの状態であるとエンジン等に悪影響を与えることとなります。訓練を行う際は発電機に注入したガソリンは必ず使い切るようにしてください。



燃料給油キャップを開けてガソリンを入れてください。

### (3) エンジンをつける

燃料給油キャップのつまみを「ON」の位置に、エンジンスイッチを「運転」の位置に、チョークレバーを「始動」の位置に合わせてください（取扱説明書25ページを確認すること。）。

始動グリップを勢いよく引っ張ってください。エンジンがかかります。始動後エンジンの回転が安定したら、チョークレバーを「運転」の位置に戻してください（取扱説明書25、26ページを確認すること。）。



### (4) 投光器等を接続

発電機の電源に、投光器、水中ポンプ等のコンセントを差し込んでください。

### (5) 訓練終了後の処理

ガソリンについては自然劣化するため、訓練の際は必ず使い切るようにしてください。

また、キャブレター内のガソリンを抜き取る必要があるため、下記の作

業を行ってください（取扱説明書49、50ページを確認すること）。

- ① メンテナンスカバーを開ける。
- ② 発電機の下に容器又は布を敷く。
- ③ エンジンスイッチを「運転」にし、キャブレターのドレンスクリ  
ュをドライバーでゆるめて、キャブレター内のガソリンを外に出す。  
（パイプの下からガソリンが出てきます。）
- ④ エンジンスイッチを「停止」にする。



キャブレター



容器又は布を敷く。



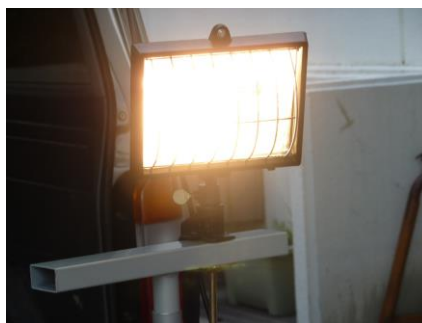
ドライバーでゆるめる。

※発電機の使用にあたっては、取扱説明書を必ず確認するようにしてください。

## 2 投光器

使用目的：停電した際に照明として利用する。

使用方法：三脚を組み立てて投光器を固定し、電源を発電機に接続してく  
ださい。



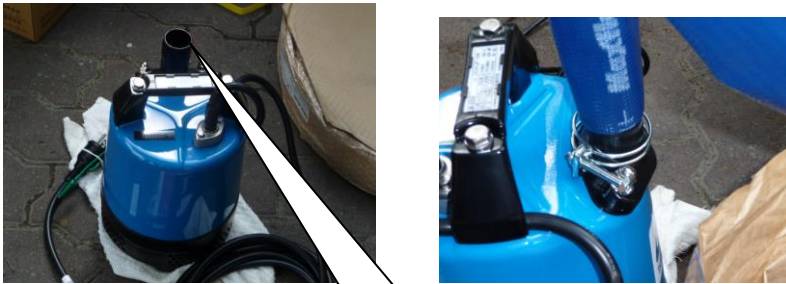
## 3 水中ポンプ、ホース

使用目的：災害により断水した際に、プールから水を吸い上げて、トイレ

## 用等の水として利用するためのもの

使用方法：水中ポンプにホースを取り付け、プールの中に入れた状態で、電源を発電機に接続してください。水中ポンプがプールから水を吸い上げ、吸い上げた水がホースの先から出てきます。

なお、水中でなくても水中ポンプ自体は稼動しますので、訓練の際に実際に水の吸い上げを行うかどうかは各校の実態に応じて判断してください。



ホースを取り付け  
ます。

## 4 水槽

使用目的：水中ポンプで吸い上げた水を貯めておくためのもの。

使用方法：折り畳んだ状態の水槽を広げ、付属品の棒及びゴムチューブを水槽の所定の場所に差し込み、組み立ててください。



水槽完成図